# 特別な支援を必要とする子どもに対する支援体制と課題
# ～全国保育・幼児教育施設調査結果から～

○高橋翠・野澤祥子・遠藤利彦
（東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター）

## 概要

**特別な支援を必要とする子どもの保育に関する実態と課題を全施設形態を対象とした大規模調査を通じて検討した。**

◆幼稚園において特に、『特別支援児への対応』が園の教育実践・運営上の課題として認識されていた。
◆『行政の補助金』の利用頻度は、施設形態と都市区分で異なった。
➡認可保育所/認定こども園では、東京２３区とその他市町村は政令指定都市や中核市に比べて利用頻度が低い。
◆園長の困難・課題の認識（自由記述）のテキストマイニングの結果、①保護者との連携、②人手不足が通施設的・全国的な課題であることがわかった。
➡特に認可保育所で①②が高頻度で出現していた。

## 目的

- **通施設的研究の不足／新しい施設形態における実態把握**
- **都市区分による比較**

◆子ども・子育て支援新制度
➡施設の多様化
➡地域のニーズに合わせた支援が可能になる一方で、
それが自治体間での格差につながる可能性
※専門的支援については都道府県と連携
∴通施設的・全国的な実態把握が急務

◆全国保育・幼児教育施設大規模調査（Cedep, 2015年12月~3月）
➡全国の保育・幼児教育施設を対象に実施
✓園での取り組みの実態
✓園長先生の課題・困難の認識

## 背景

- **特別支援保育に関する近年の動向**
- **先行研究**

◆保育所等における障害児の受け入れ：一般施策における障害児支援
➡子ども・子育て支援新制度において更なる充実化が目指される
◆保育所等に通う障害児の増加（厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課調べ）
➡障害児保育職員配置基準：自治体による差（2:1、3:1、条件つきで2:1など）
➡受け入れや認定における基準：自治体による差
◆（未受診であるが）配慮が必要な子どもの多くが気づかれている（笹森ら, 2010）
➡「発達障害傾向が認められる未診断の子ども」の多さと発達障害に関する知識不足が，保育士のバーンアウト傾向の高さと関連（木曽, 2013）。
◆保育・幼児教育施設は最も身近な子育て支援機関として以前に増して重要な役割を果たすようになってきている一方で、園外の専門機関との連携や情報収集（三宅, 2010），保護者対応（郷間, 2008）等の点で様々な課題がある。

## 方法

- **園長票を分析**
- **自園での取り組み／課題認識（５段階評価）、困難・課題（自由記述）**

◆全国保育・幼児教育大規模調査（送付数/園長票の返送数/回収率）：
○全施設に送付…認定こども園（2565/1129/44%）、小規模保育所（1654/607/37%）、認可外保育施設（7821/1327/17%）
○抽出した施設に送付…認可保育所（4937/2563/52%）、幼稚園（3402/1450/43%）
※政令指定都市のある都市部と過疎地域に半数ずつ送付
◆本研究で分析の対象となった項目：
1. 園での対応（クラス編成により対応、フリーの保育者が対応、有給の職員の配置、行政の補助金の利用、保護者が介助）
１「まったくそうでない」～５「いつもそうである」の5段階評定
2. 園長の課題認識（保育実践や運営上の課題）：
１「まったくそう思わない」～５「とてもそう思う」の5段階評定
3. 園長の困難・課題（自由記述）

## 結果

- **施設形態や都市区分によって課題や対応に差があるか検討**
- **園長の自由記述（困難について）のテキスト分析**

◆『障がいのある子ども・特別な支援を要する子どもへの対応』が“保育実践や運営上の課題”であるかどうかを尋ねた質問への回答

| 施設形態 | | まったくそう思わない | あまりそう思わない | どちらともいえない | ややそう思う | とてもそう思う |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 小規模保育所 | 園数 | 31 | 60 | 213 | 156 | 114 |
| | % | **5.4%** | **10.5%** | **37.1%** | **27.2%** | **19.9%** |
| 認可外保育施設 | 園数 | 98 | 140 | 420 | 336 | 260 |
| | % | **7.8%** | **11.2%** | **33.5%** | **26.8%** | **20.7%** |
| 認可保育所 | 園数 | 53 | 223 | 524 | 944 | 778 |
| | % | **2.1%** | **8.8%** | **20.8%** | **37.4%** | **30.8%** |
| 認定こども園 | 園数 | 15 | 91 | 205 | 424 | 333 |
| | % | **1.4%** | **8.5%** | **19.2%** | **39.7%** | **31.2%** |
| 幼稚園 | 園数 | 21 | 90 | 247 | 522 | 516 |
| | % | **1.5%** | **6.4%** | **17.7%** | **37.4%** | **37.0%** |
| 全体 | 園数 | 218 | 604 | 1609 | 2382 | 2001 |
| | % | **3.2%** | **8.9%** | **23.6%** | **35.0%** | **29.4%** |

◆「障がいのある子どもや特別な支援を要する子どもの受け入れや対応に関して、困難に感じて いることはありますか。」に対する自由記述の分析結果
➡テキストマイニングソフトKH Coder(樋口, 2014)を使用
➡自由記述3271件中、30回以上登場した語句157語に絞って語句の共起関係を解析（下図）

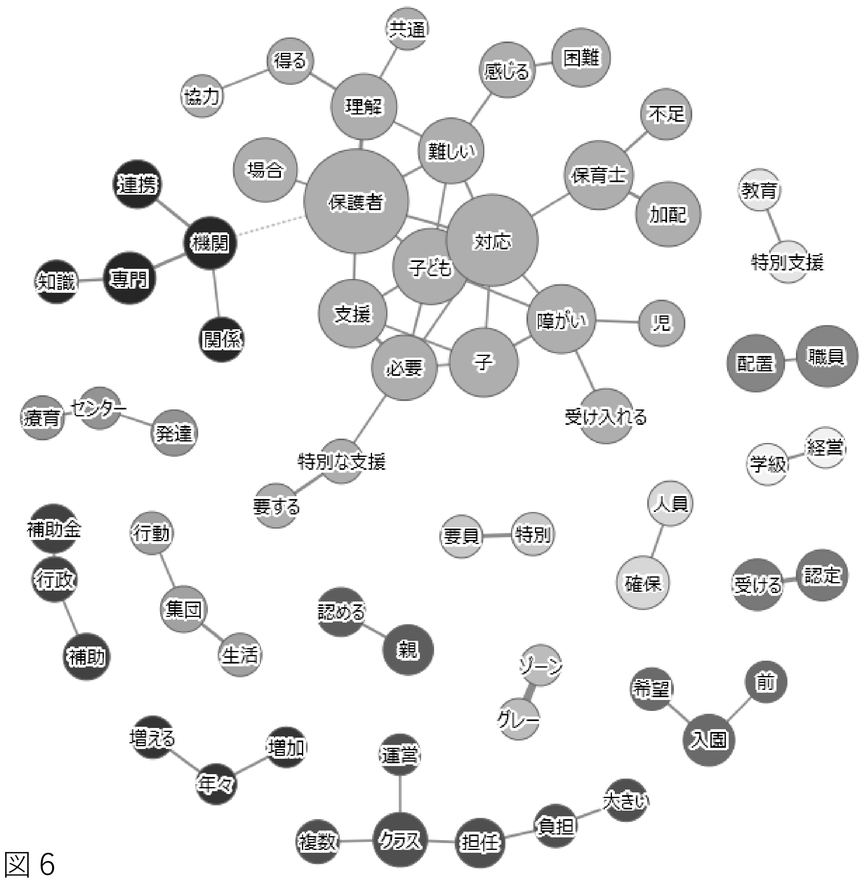


図６
語句の共起ネットワーク解析

◆障がいのある子ども・特別な支援を必要とする子どもへの対応

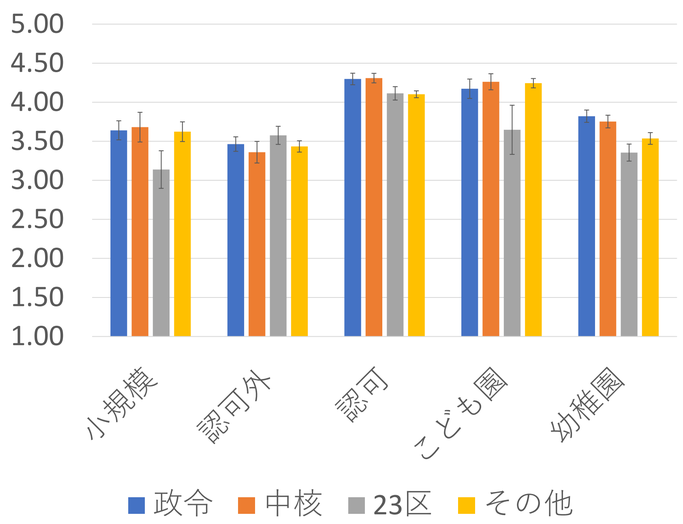


図１　クラス編成の配慮により対応している（例. 複数担任、園児数の調整）

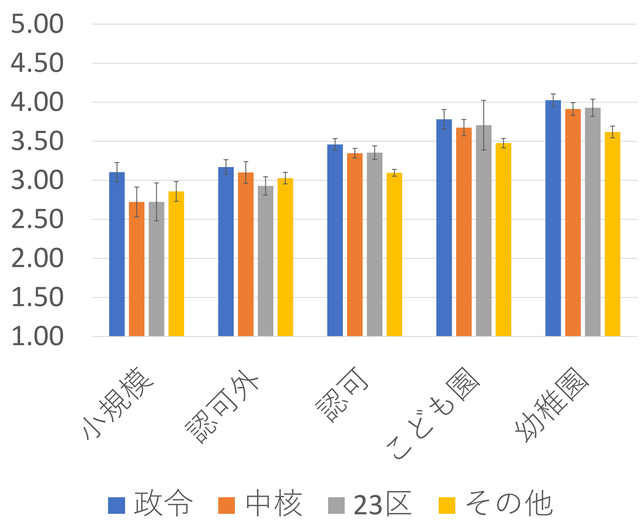


図２　クラス担任以外のフリーの保育者（園長、主任含む）が 対応している

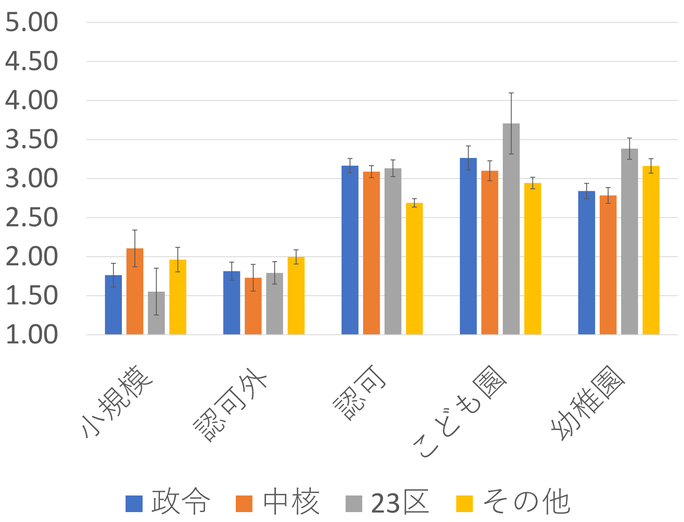


図３　特別な要員（有給）を配置している

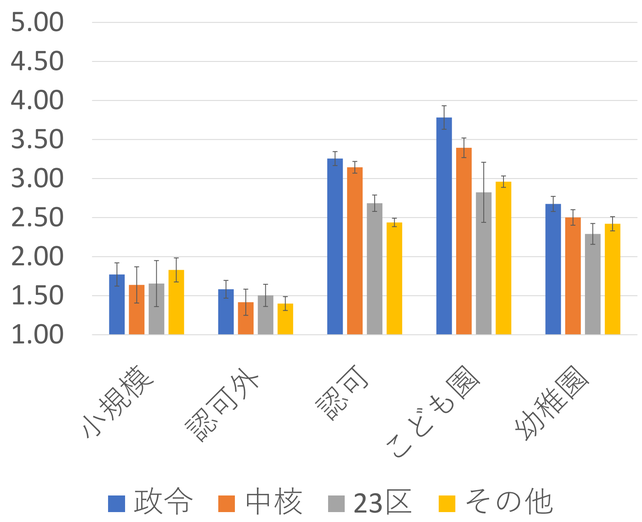


図４　行政の補助金を利用している

主要な７つの課題を抽出：
①人手不足、②保護者との連携、③認定・診断、④入園・入所、⑤補助金の不足、⑥他機関連携、⑦グレーゾーン・気になる子
➡カテゴリに該当する語句が含まれる

| 施設形態 | 人手不足 | 保護者との連携 | 障がいの認定 | 入園・入所 | 補助金 | 他機関連携 | グレーゾーン |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 認可保育所 | 504 (40.91%) | 487 (39.53%) | 103 (8.36%) | 55 (4.46%) | 57 (4.63%) | 48 (3.90%) | 42 (3.41%) |
| 認定こども園 | 194 (35.99%) | 212 (39.33%) | 55 (10.20%) | 40 (7.42%) | 27 (5.01%) | 15 (2.78%) | 16 (2.97%) |
| 幼稚園 | 262 (35.26%) | 260 (34.99%) | 43 (5.79%) | 68 (9.15%) | 46 (6.19%) | 22 (2.96%) | 13 (1.75%) |
| 認可外保育施設 | 154 (32.49%) | 135 (28.48%) | 35 (7.38%) | 30 (6.33%) | 18 (3.80%) | 6 (1.27%) | 6 (1.27%) |
| 小規模保育所 | 65 (35.52%) | 36 (19.67%) | 10 (5.46%) | 6 (3.28%) | 2 (1.09%) | 3 (1.64%) | 5 (2.73%) |
| カイ2乗値 | 13.511** | 42.398** | 10.602* | 21.323** | 9.929* | 9.651* | 8.984 |

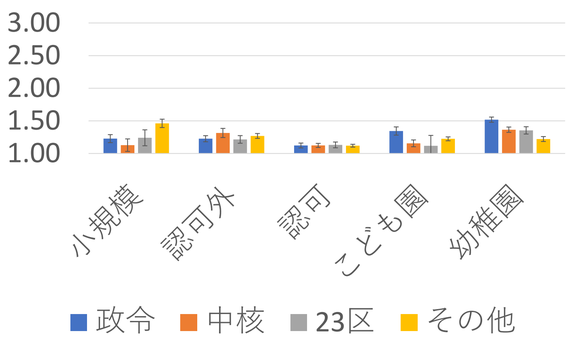


図５　保護者が介助している

**【今後の課題】**
✓ 施設形態や都市区分による差異がなぜ生じているか、その背景にある要因の解明
✓ 障がいの種類による差異の検討